

前回の宿題の題記出版物及び代表とのコンタクトについて報告された。題記図書は東京商工連盟一編、中小企業研究会一企画、四谷ラウンド出版、価格2900円で、全国会議員（一人2頁）を網羅した分厚いものである。代表はベンカン社長の中西真彦氏（以前当会にも顔を出した都議中西一善氏の父親）であり、政策秘書小野氏（TEL 3561-1661）と連絡の結果、講演会への案内状を貰う事とした。

(3) 生活者通信投稿紹介

生活者通信3月号「リレーコラム・世相を斬る」に投稿した「亡国・革命・新しい文明の創造」を大谷より紹介した。これも多少平成維新から逸脱しているが、新しい文化の創造、国際化のあり方など、国際的にみた新しい日本の作り方について種々提案及び意見の交換が行われた。

(4) 情報公開運動

運営会議で行われた若林ひとみ文京区議の話と殆ど同じものが、朝日新聞1月23日の論壇に掲載されており紹介した。又たまたま当日猪塚氏が世田谷110番の後藤氏を訪れ同氏の活躍状況が報告された。当区はやや労力に自信がもてない状況であるが、やはり一度は裁判まで体験することが必要であろうということになり、品川区・大田区の区長部局の食糧費調査に関して杉本氏が都民の会担当の長谷川氏と次回運営会議でコンタクトすることとした。

(5) 会員拡大

パンフレットもよいが、サロンだけでは迫力に乏しいので、まず情報公開運動を体験してみて、具体的な活動で基礎固めした上で会員拡大に本格的に着手することとした。

(6) その他

若い人をどう政治に巻き込むかについてフリートークが行われた。

5. 次回予定

次回は2月28日（土）PM 6.30～9.00 場所は同じく喫茶室ルノアール蒲田西口店。

P.S. 終了後同ビル地下1Fのつば八にて懇親会を行った。平成維新をどのようにして実現するかの戦略或いはシナリオについて、更に効果的究明方法が必要であることをあらためて感じた。

【B】東京5区例会記録（治田桂四郎）

2月7日（土）午前10時より標題の会議を行った。出席者は、板橋さん、長妻昭さん、小野寺さん、門叶さん、八杉さん、私の6人でした。

最初に長妻さんから、国債の資料が配られ、説明され、議論しました。国債の現在額は、約247兆円で、これは1日あたり、約460億円利子を国の経費から出してる額です。毎日老人ホームが4つ位できる額です。この事から以下に早く、国債を解消する必要があるかが、分かります。自民党は、ここまで膨大な国債を発行してきた訳でこれ自体、大きな失政といえると思います。良く、家庭の主婦から、財政赤字は、家計の赤字とは、違うのでは、実際に問題はないのではとの質問があり、長妻さんは、上記の事を答えているとのことでした。

この事から、いろいろと議論が広がり、今まで国債を発行して、公共投資に向けてきたものが、景気の回復に寄与させられなかった事等政府の失政について話し合った。また、現在好調なアメリカに日本は、1000兆円くらいの投資をしていて、それらを引き揚げれば、良いのでは、と小野寺さんに質問した所、そうするとアメリカが、参ってしまうとの事で、話が進まなかった。

いずれにしろ、私は、無駄なものをカットする以外にないと思う。何が、無駄かは、国会議員に考えてもらうしかないが、自民党では、できそうもない。

私の事情で、私は、11時半に退席したのですが、11時頃八杉さんが来られて、その後、前回から経過報告を行い、区政については、八杉さんに何かないかと聞いた所、自転車置き場の問題が、置き場がない、どうすれば、作ってもらえるか。西武が動かないので、どうすればいいかを議論した。私の退席後も12時まで、議論するように小野寺さんに御願いした。

【C】大前研一通信購読者拡大委員会（江頭清昌）

| 【大前研一通信・購読会員申込案内】 |
| 郵便口座番号：00110-3-709334 |
| 振込名称：大前研一通信。 年会費：1万円。 |
問合せ先：TEL 03-3263-2300 FAX 03-3263-2430

「活動協賛金」ご協力をお願い

平成維新東京の活動をより活発にするため、「活動資金」を募集しています。

多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

協力金：1口・2000円（2口以上歓迎！）

郵便口座番号：00120-0-772036

郵便口座名称：維新都民

日本を国民主権の法治国にしよう。
人類の幸福の向上に貢献出来る事を願って活動する

花和グループ

(有) 花和ビル

(株) 花和

(有) パステルハウス

(有) 葉明

HANA WA